

平成 28 年度および 29 年度の取組について

環境省九州地方環境事務所

1. 平成 28 年度の取り組みの概要

(1) 調査・モニタリング

① ヤクシカの生息状況調査 ※議事 2 ①で報告

- ・糞塊調査（105 地点）、糞粒調査（15 地点）を実施した。
- ・糞塊調査結果と糞粒調査結果を用いた要調査結果の相関関係分析を実施した。

② ヤクシカによる被害状況等調査

i) 植生保護柵内外の植生等調査 ※前回 WG 報告済

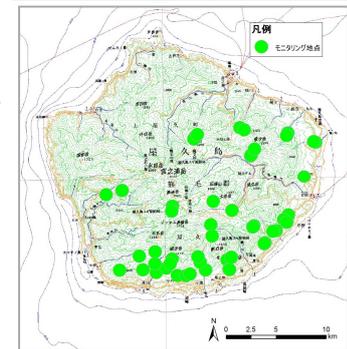
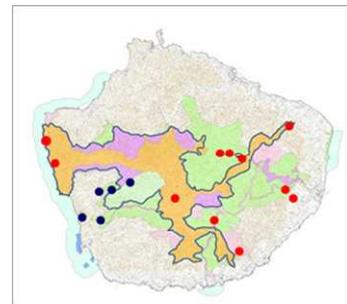
- ・既設植生保護柵 14 箇所柵内外の植生、植物相等を調査した。

ii) 希少・固有植物のモニタリング ※議事 2 ②で報告

- ・平成 23・24 年度に始めた希少植物・固有植物の分布・生育状況モニタリングの 2 回目を実施した。

③ ヤクシカの捕獲情報図の作成 ※議事 2 ③で報告

- ・1km メッシュ捕獲情報図を作成した。



(2) 計画捕獲に向けた捕獲手法等の検討

① シャープシューティングの体制による計画捕獲の検討 ※前回 WG 報告済

② 西部地域における囲い罠での誘引捕獲の検討（別添①）

- ・川原地区で囲い罠 1 基（捕獲はできない構造としている）を設置してヤクシカの誘引試験を実施し、囲い罠の規模、誘引時間、手法上の留意事項等について検討を行った。

(3) 被害防除等

① 西部植生保護柵（3 工区）の改修

- ・沢を含んでいたため、悪天でしばしば破損していた植生保護柵を分割する改修工事を

実施した。

2. 平成 29 年度の取り組みの概要

(1) 調査・モニタリング

①ヤクシカの生息状況調査

- ・糞塊調査（105 地点）、糞粒調査（15 地点）を 10-11 月に極力短期間を実施するとともに、糞塊密度分布の推定を行う。
- ・糞塊調査結果と糞粒調査結果を用いた要調査結果の相関関係分析を継続する。

②ヤクシカによる被害状況等調査

【希少・固有植物のモニタリング】

- ・新たなモニタリングサイトを高標高地などに追加する（約 10 地点）
- ・既知の国内希少野生動植物種（以下、国内希少種）生育地で生育情報を更新する（約 10 地点）
- ・ハナヤマツルリンドウ、コゴメキノエラン（国内希少種）生育状況調査

③ヤクシカの捕獲情報図の作成

- ・平成 28 年度のヤクシカ捕獲情報図（1km メッシュ）を作成する。

(2) 計画捕獲に向けた捕獲手法等の検討

①シャープシューティングの体制による計画捕獲の検討

- ・冬季に、南部および中央部の 2 林道において実弾を用いた試験捕獲を行い、屋久島でのシャープシューティング導入適否の評価を行う。（関係機関による実施体制の構築試行も兼ねる）

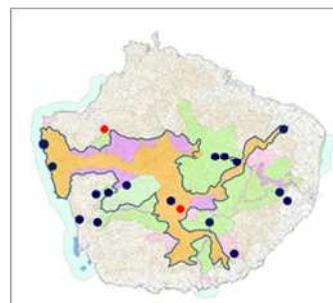
②西部地域での密度操作実験の検討

- ・西部地域における密度操作実験の実施に向けて、計画案の検討を行う。
- ・これに伴って、6 月 30 日に「屋久島西部地域の生態系管理およびヤクシカ個体群の管理のあり方に関する意見交換会」を開催し、西部地域の森の現状評価、ヤクシカ個体数調整等について意見交換を行った。（別添②）

(3) 被害防除等

①植生保護柵の設置

- ・淀川および永田において、植生保護柵を設置する。



②ヤクシマウスユキソウ保護対策

- ・現時点で1カ所、1個体のみしか確認されていないヤクシマウスユキソウについて小規模（0.2m×0.4m×0.2m）な保護柵を設置する。

③フササジラン等国内希少種の保護対策の検討

- ・昨年度の調査で、減少が確認されたフササジランなどについて被害防除方策の検討を実施する。